

小学六年

国語

解答と解説

1

問一
i
エ
ii
ウ
iii
イ
問二
ど
う
せ
現
問三
エ
問四
イ

問五			
こ	期	る	周
と	待	イ	り
。	通	メ	の
	り	ー	人
	の	ジ	が
	自	を	自
	分	こ	分
	を	わ	に
	演	さ	対
	じ	な	し
	よ	い	て
	う	よ	持
	と	う	っ
	す	に	て
	る	、	い

2

問一
エ
問二
イ
問三
イ
問四
1
エ
2
ア
3
イ

問六
エ
問七
ウ
問八
ウ
問九
イ
問十
た
ぶ
ん
、
ぼ

問五
④
ウ
⑩
イ
問六
群
れ
の
り
ー
ダ
ー
問七
ウ

(配点)
 ① (問一) 各2点、(問五) 7点、他各5点 }
 ② (問四) 各2点、(問五) 各3点、他各5点 } 計150点
 ③④⑤ 各2点

27
28
29
30

		5	4	3	
⑥	勤務	①	①	①	問八
65		指揮	無	敬服	自分
⑦	民衆	②	②	②	と
66		岐路	機	綿密	血
⑧	貯蔵	③	③	③	の
67		破談	馬	算段	問九
⑨	縄	④	④	④	ウ
68		簡素	電	念願	問十
⑩	耕	⑤	⑤	⑤	ア
69		賃借	工	順序	問十一
					工
					46
					47
					48
					49

【解説】

1 吉野万理子の「青空トランペット」から出題しました。

弱視（正確にはロービジョン）の妹、奈奈を持つ広記が、学校の国語の授業で「ぼくのゆめ わたしのゆめ」という作文を書くことになったことをきっかけに、自分の将来について考える始める場面です。

問一 A2 知識 関係づけ

それぞれ次のことばが入ります。

- i 伊勢原の冗談をきっかけにざわざわしている生徒たちを落ち着かせて自分の話をするために、先生は黒板をチョークでたたいています。したがって「コッコツと」が入ります。
- ii 両手を合わせながらトモチンがニツと笑った時に、歯の矯正で使う銀色の器具が見えています。したがって、「ピカツと」が入ります。
- iii この場面の前に、奈奈が広記の左腕を軽くつかんでいる描写があります。それに続いて広記が発した冗談に対して「んなわけないじゃーん。」と言った奈奈は、広記の左腕に体重をかけています。したがって、「ぐつと」が入りません。

問二 B1 理由 関係づけ

広記が「自分のゆめ」に対してあまり前向きになれないことは、——線①に続いて益美おばちゃんとの会話を思い出ししている部分に書かれています。これに続いて、——線②七行後から始まる段落でその理由が語られています。なんとなく傍線部周辺を探し始めるのではなく、「広記」「ゆめ」「マイ

ナス」という要素が重なって出てくる場面を見つける、という意識を頭において文章を読み進めましょう。また、空らんの前に書かれている「弱視の妹を助ける必要」という内容にも注意が必要です。

問三 B1 理由 比較

広記は夢を持つことにあまり前向きではありませんし、将来何になりたいのかという益美おばちゃんの質問を「便利な決まり文句みたい」と表現していることや「いつておいた」という表現からも、本心をさらけ出しているわけではないことが読み取れます。益美おばちゃんが良かれと思っただけの質問に対して、うそを言うわけでもなく、特に波風を立てることもなくその場をやり過ごせるのが、この時の「プロ野球選手」という答えだったのです。したがって、エが正解となります。ア「プロ野球選手になれば益美おばちゃんがおどろくだろう」、イ「うそを言ってもばれないだろう」、ウ「運動神経のことをとやかく言うことはないだろう」がそれぞれ誤っています。

問四 A2 知識 関係づけ

③は直前で「さあ……。」とはつきりしない反応をしていることから「首をかしげる」の「首」が入ります。不思議だな、と思う場面だけでなく、なんとなく納得できない場合にも使われる表現です。⑦は、奈奈と歩いている場面で広記が見たものをどんどん言葉にして説明している場面なので「目についた」の「目」が入ります。

問五 **B2** 置換 推論

「それ」が直接指しているのは、広記が建太郎としゃべっている時に、建太郎から期待されていると感じる「どうせ」という言葉をわざと使うことがある、ということ。これを先生の言った「妹に限らず友だち関係でもさ、『あいつはこういうやつだから』ってイメージが強い」という発言とちやいけな、つて思うことである。期待を裏切つて重ね合わせていることから、「周囲の人が自分に持っているイメージ」「期待通りの自分を演じる」という内容が必要だとわかります。

※ 設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点2点とします。

問六 **B1** 推論 比較

——線⑤直後の「まじで……」に続き、トモちゃんがオリンピックに行く方法を調べていたことについて広記がびっくりしていることが書かれています。大きな夢を語るだけでなく、それを実現するために必要な方法を具体的に調べているトモちゃんの行動力をすごいと感じているのです。したがってエが正解となります。ア「なぐさめたくなる」、イ「実力を過大評価するべきではない」、ウ「夢はどれか一つにしぼるべきだ」がそれぞれ誤っています。

問七 **B1** 具体化 比較

カタカナ表記は「外国語であること」「なじみのなさ」な

どを表すことがあります。トモちゃんは、広記がまたいつものように「どうせ」という言葉を使っていると指摘しています。これに対し、広記はトモちゃんが指摘したようなつもりで、つまりいつものように軽く笑わせようと思つて言つたわけではないと考えていることが「ふつうに口から出てしまった言葉だった」からわかります。したがってウが正解となります。ア「トモちゃんが期待していた通り」、イ「仕方なく出した」、エ「広記の気持ちをすくなく見ぬいた」がそれぞれ誤っています。

問八 **A2** 知識 関係づけ

広記が凶鑑で見た「ブタ菜」がブーブー鳴くというのはどうやら作り話のようです。ただ、奈奈はそれがただの冗談なのか、それともうそのような本当の話なのか、どちらかつかみかねています。したがって、ウ「半信半疑」が入ります。アの「一知半解」は「じゅうぶん理解していない様子」、イ「疑心暗鬼」は「何でもなようなことまでおそろしく感じてしまうこと」、エ「一進一退」は「進んだりもどつたりする様子」を表す四字熟語です。

問九 **B1** 具体化 比較

広記は自分のことだけでなく、会社の社長になると言つて勉強をがんばっている建太郎についても「夢はかなわなくて当たり前だ」という考え方をくずしていません。ところが、身近な存在である母が就いている看護師の仕事が彼女の昔の夢だったことを知り、おどろくとともに夢はかなうものなのだ、と衝撃を受けているのです。したがって、イが正解とな

ります。ア「母が夢のためにどれだけ努力したか」、ウ「実現できそうな夢を見つけて追い続けよう」、エ「ふだんの言動からは夢を持っているように見えない母」がそれぞれ誤っています。

問十 **B1** 関係づけ

脱文をもとにもどす問題です。まずは脱文そのものをチェックし、脱文に対して「前に書かれているはずの内容」「後に続くと思われる内容」を考えてから本文を探すようにしましょう。脱文中の「だから」という接続語から、脱文の前にチームをやめたしまった理由が来るのではないかと予想が立ちます。これをもとに探すと、——線②五行後に、「小学校の野球チームでレギュラーになれない」という表現が見つかります。

2 稲垣栄洋の「生き物の死にざま はかない命の物語」から出題しました。

ゴリラが群れの中でどのように生き、そしてどのように死んでいくのか、また死んでいく者の周囲にいるゴリラはどのような反応を見せるのか、ということについて論じた文章です。

問一 **B1** 具体化 比較

——線①七行後に「本当のところ、ゴリラは『古い』や『死』をどう感じているのか。」とあることから、この周辺で説明されていることと選択肢の内容をていねいに照らし合わせていく必要があります。ここまでの文章も合わせて考えると、ゴリラが「死」をはっきり認識しているかどうかにつ

いては断定的に言えないものの、「死」を「不思議なもの、特別なもの」ととらえていることは明らかだということが読み取れます。以上のことから、エが正解となります。ア「取り立てて悲しい出来事だとは認識していない」、イ「必死でそれに抵抗しようとする」、ウ「死を事実として受け入れる知能を持つておらず」がそれぞれ誤っています。

問二 **A2** 知識 関係づけ

②と同じ文に「もうずいぶんと昔のこと」という表現があることから、イ「十年一昔」が入ります。ア「一期一会」は「二度とくり返されることのない一生に一度の出会い」、ウ「古今東西」は「過去から現在まで、あらゆる場所で」、エ「旧態依然」は「昔から進歩や発展がみられない様子」という意味の四字熟語です。

問三 **B1** 理由 比較

ゴリラの成長がゆっくりである原因を問う問題です。因果関係を正確につかむうえで、「同内容の言い換え」「因果関係の逆転」に注意しておきましょう。アは——線③を言い換えただけであり、エは原因と結果の関係が逆転してしまっています。子どもを守る力が強く、子どもの生存率が高いために、次の世代を残すうえで成長がゆっくりになっても問題ない状況が生まれているのです。したがって、イが正解となります。ウは本文に書かれている内容ですが、ゴリラの成長がゆっくりであるという事実の理由にはなりません。

問四

A 2 知識 関係つけ

前後関係に着目し、それぞれのつながり方をおさえながら考えましょう。

1 直前にはオスのゴリラはメスの集団と少し距離を置いておき、その後には母親たちがオスのゴリラのところへそれぞれ子どもを預けにくるという内容が続いています。前の内容から順当に後の内容が導かれる関係です。したがって「そして」が入ります。

2 直前に、オスのゴリラが母親任せにせず、子どもたちに公平な接し方をするという内容が書かれています。直後は、オスのゴリラがこの時期に「父親」になつていくということが書かれています。同じ話題について、オスのゴリラの様子と並列に書かれています。したがって「さらに」が入ります。

3 直前にオスのゴリラがすべてのメスに気配りしながら群れを統率するという内容があり、直後にはメスの数が多くなると一頭のオスだけでは対処できなくなるという、反対の内容が続いています。したがって「しかし」が入ります。

問五

A 1 知識

④「円熟味を増す」の「円熟」は、「じゅうぶんに上達し、内容が豊かになる」という意味です。職人や音楽家などの職業を長年続けてきた人物が、経験にもとづく素晴らしい技能を発揮する様子を表す言葉です。したがって、ウが正解となります。⑩「天寿を全うできる」の「天寿」は「天（神）からあたえられた寿命」、「全う」は「最後までやり切る」という意味です。したがって、イが正解となります。

問六

B 1 関係つけ

ゴリラの幼稚園の先生役はどのようなオスが担当しているのかを本文から探しておきましょう。ゴリラの群れは一頭のオスと複数のメス、それに子どもたちで構成されています。したがって、群れの中で幼稚園の先生役をできるのはリーダーとなるオスだけです。「リーダー」という意味を持ち、字数の条件を満たすものとして、——線①十五行後などに出てくる「群れのリーダー」が当てはまります。

問七

A 2 知識 関係つけ

⑥直後に「ただ、遊ばせておくだけである」とあることから、幼稚園の先生役となるリーダーのオスは、自分の方からあれこれと手をかけて子どもたちにいる教えるわけではないことがわかります。したがって、ウ「積極的」が正解となります。

問八

B 1 具体化 関係つけ

オスのゴリラと対照的に、メスのゴリラは「子どもを産んだその瞬間に母親となることができる」とあります。出産を通じて、母親は子どもとの血のつながりを強く実感できるというわけです。このことは、子どものけんかが起きた時にも母親はつい自分が産んだ子どもをかばってしまうというエピソードで説明されています。一方、出産を経験しないオスは、子どもとコミュニケーションを取ることはじめて「自分と血のつながった子ども」という実感を持つようになるのです。

問九

B1 具体化 比較

——線⑧自体から、「ゴリラが猛獣と認識されるのには、人間にも原因がある」ということが読み取れます。直前に「人間が狩りをし、ゴリラを刺激するから、ゴリラは戦おうとする。」とあることから、ゴリラがもともと攻撃的な動物なのではなく、人間の行動がその攻撃的な性質をうかびあがらせているのだという説明になっている。選択肢を選ぶ必要がありません。したがって、ウが正解となります。ア「敵に猛然と立ち向かうゴリラの本性」、イ「自ら猛獣になることを選んだ」、エ「猛獣と呼ばれるような性質は備わっていないからはずだ」がそれぞれ誤っています。

問十

B1 理由 比較

ゴリラが年老いていれば年老いているほどモテる理由を問う問題です。年老いたゴリラと若いゴリラを対比して考えましょう。——線⑨の次の段落にあるように、「豊富な経験」こそが年老いたゴリラの一番の魅力です。これについてふれているアが正解となります。イ「群れの仲間を自分が守らなければならぬのだ」という自覚を持ってない、ウ「群れの中でけんかが起こらず」、エ「身体的な特徴がはっきりと現れないようになっていいる」がそれぞれ誤っています。

問十一

B1 抽象化 比較

このような内容一致の問題では、選択肢の内容だけを讀んで正誤を判断するのではなく、本文の内容と照らし合わせて正誤を判断するようにしましょう。ア「自分が後を継ぐために」、イ「片時も目を離さずに見守っている」、ウ「母親の持つ

ている力が群れの中での立場を左右する」がそれぞれ誤っています。また、エの内容は《3》をふくむ段落とその前の段落に書かれている内容と一致しています。

3 A1 知識

類義語の問題です。一字が共通する類義語の組も多いですが、今回は二字とも異なる字で構成された類義語の組を取り上げました。「教科書を用意する／準備する」のように、類義語は入れかえて使っても意味が変わらないことを確認しておきましょう。

4 A1 知識

四字熟語の問題です。三字、四字の熟語でも、使われている漢字が一字ごとにどのような役割を果たしているかを意識しておくことが大切です。四字熟語と意味を合わせて覚えるだけでなく、どのような場面で使われる言葉なのかについても意識しておきましょう。